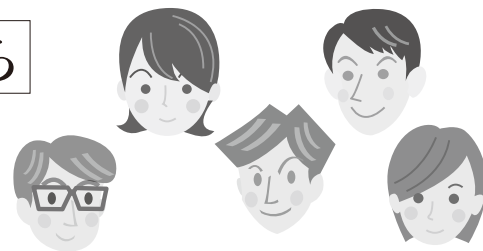


アンテレクトの仲間たち



～ 国際コーチ連盟 (ICF) 認定資格の取得を目指す ～

さる9月28日、GCS認定コーチの中から、初めての国際コーチ連盟(ICF)認定取得コーチが誕生しました。銀座コーチングスクール(GCS)にとって、GCS認定コーチのICF認定取得は、設立当初からの悲願でした。なぜなら、GCSの方針やカリキュラム・認定制度などが、コーチングのグローバルスタンダードであるICFに認められたことにもなるからです。今後のICF認定に関するGCSの方針などについて、銀座コーチングスクールの林英利代表に話を聞きました。

「国際コーチ連盟」とは？

インタビューア(以下:イ): そもそも、国際コーチ連盟(ICF)とはどのような団体なのでしょうか。

林: ICFは1995年に非営利団体として設立された、世界最大のプロコーチのコミュニティです。プロコーチを支援するためのサポートネットワークであり、プロコーチという職業の国際社会での認知度を高め、専門職・業界として確立させるための活動を行っています。

イ: 認定制度もあるそうですね。

林: はい、ICFは国際的に認められるプロコーチの基準を示し、コーチの能力要件や倫理規定を策定したり、資格認定制度やコーチ養成トレーニングプログラムのガイドラインなどを定めたりしています。

イ: 会員数はどの位なのでしょう。

林: 少し前のデータになりますが、2013年の年次報告書によると、会員数は22,701名、ICF認定コーチは11,735名とのことです。

イ: 入会するためにはどうしたらよいのでしょうか。

林: 入会するためには、ICFの倫理規定を守ること、60時間のコーチング専門トレーニングを修了または修了見込みであることが求められます。会員になると、地元のチャプター(支部)や世界大会の優待参加、さらには、コーチ紹介サービスへの登録権利なども提供されています。日本にもICF日本支部があります。

イ: ICFのコーチの認定制度はどのようなものなのでしょうか。

林: 認定資格は3つの段階に分かれており、上位からMCC(Master Certified Coach)、PCC(Professional Certified Coach)、ACC(Associate Certified Coach)と呼ばれており、それぞれの人数の割合は、MCCが6%、PCCが34%、ACCが60%となっています。

イ: 認定を取得する意義はどのようなものなのでしょうか。

林: いろいろあるかと思いますが、まず1つは「グローバルに通用する国際資格」ということですね。特定の教育機関に紐付けられていない資格ですし、取得難易度が高く、世界標準のコーチングの基準を満たしていることの証明と言えます。また、アメリカ政府やFortune 500企業がコーチを雇う場合にこの資格が求められるようになってきているとも言われ、日本の大手企業も追随する可能性が高いと思われます。

イ: 認定取得を目指すにはどのようにしたらよいのでしょうか。

林: 大きく分けて2つの方法があります。1つは、ICFが認定したプログラムを修了することで申請できる方法(ACTP申請、ACSTH申請)と、ICFが認定したプログラムではないが、ICFが定めた基準を満たしたプログラムを修了して申請する方法(ポートフォリオ申請)があります。



前者では実技試験が免除されたり、審査期間が短くなったりするなどのメリットがあります。GCSはこれまでに、プログラム認定を取得することを何度か検討してきましたが、いくつかの手續きに関する事情により申請を見合わせていました。要するに参入障壁が高かったわけです。ですので、日本国内のICF認定コーチといえば、ICFの認定を受けている一部のコーチ教育機関の出身者がほぼ独占している状態でした。しかし、先般のICFコーチ認定資格要件の改訂により、GCS出身者であってもICFの認定資格を取得できる道（ポートフォリオ申請）が開かれることとなりました。

GCSの方針は？

イ：それは大きなチャンスが来たわけですね。

林：そうですね。GCS出身者からICF認定取得者が輩出することは、GCS創業者の森英樹の悲願でした。「いつか必ず、GCS出身者もICFコーチになれるときが来る」。森はそう信じて、GCSのカリキュラムや認定制度を設計するにあたり、ICFが定める倫理基準やコーチの能力要件（ICF Core Competencies）に合致するようにしました。

イ：なるほど、創業当初から意識されていたんですね。

林：はい。ですので、ICFの認定資格要件の改訂に伴い、GCSでは、ポートフォリオ申請のための「ICF認定資格取得プログラム」を昨年秋よりスタートさせ、GCS認定コーチのICF認定取得に向けたサポートを行ってきました。

GCSの「ICF認定資格取得プログラム」とは？

イ：ポートフォリオ申請では、どのようなことが必要なのでしょう。

林：GCS認定コーチがICF認定資格のACCを受験するためには、さらに20時間のトレーニング（講座など）を受講し、ICF認定コーチによる10時間以上のコーチングセッションを受ける必要があります。また、セッション時間数は100時間（有料セッション75時間）以上、有料でサポートしたクライアントは8名以上、などの条件を満たしている必要があります。そして、WEB上で行う筆記試験と、記



録したセッションの内容を送付し、一定の基準を満たすことで認定を取得することができます。

GCS初のICF認定コーチの誕生！

イ：現在、どの位のGCS認定コーチがICF認定取得にチャレンジしているのでしょうか。

林：個人で取り組まれている方もいらっしゃるようですが、先ほどの「ICF認定資格取得プログラム」では、これまでに約20名の方が参加し準備を進められています。セッション時間数などの進捗など、個人差がありますので、一度に大量に合格、というわけにはいきませんが、先日の9/28に、ついにGCS出身者の初のICF認定コーチが誕生しました。

イ：GCS史に残る、大きな出来事ですね。

林：まさにその通りだと思います。これから、2人目、3人目と続々と誕生する予定です。

イ：それは楽しみです。次の「ICF認定資格取得プログラム」はいつ開催されるのでしょうか。

林：次の予定は、来年1月30日、2月13日の2日間で東京で開催する予定です。詳細はWEBサイトなどでご確認ください。

イ：GCSは今後はどのように取り組まれていくのでしょうか。

林：待望のプログラム認定を取得するための準備を進めていく予定です。プログラム認定を取得することで、GCS認定コーチの皆さんがICF認定を取得しやすくなりますからね。

イ：それは大変ありがたいですね。GCSのさらなるグローバル化を目指して、頑張ってください。今日はありがとうございました。

林：ありがとうございました。